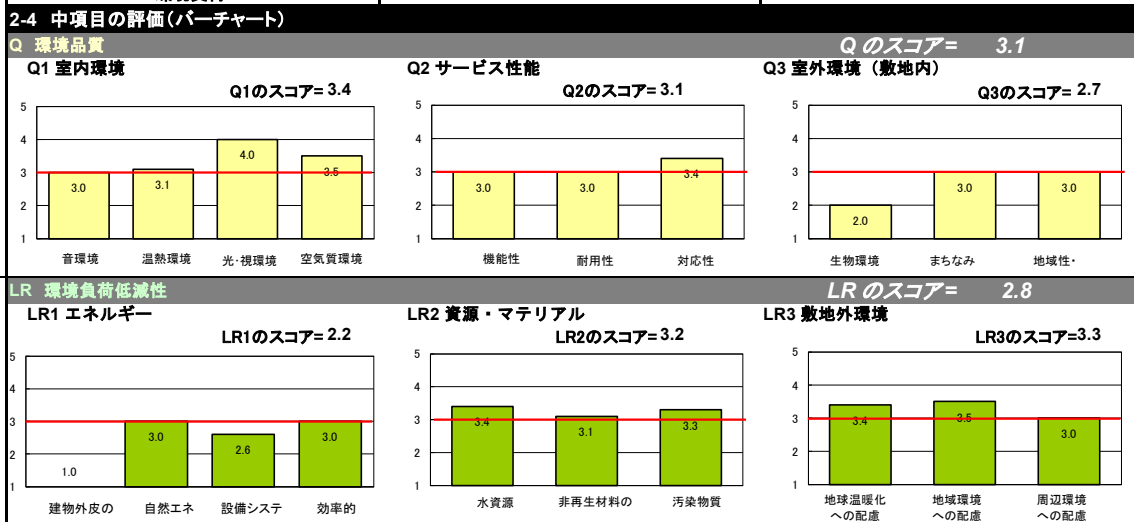
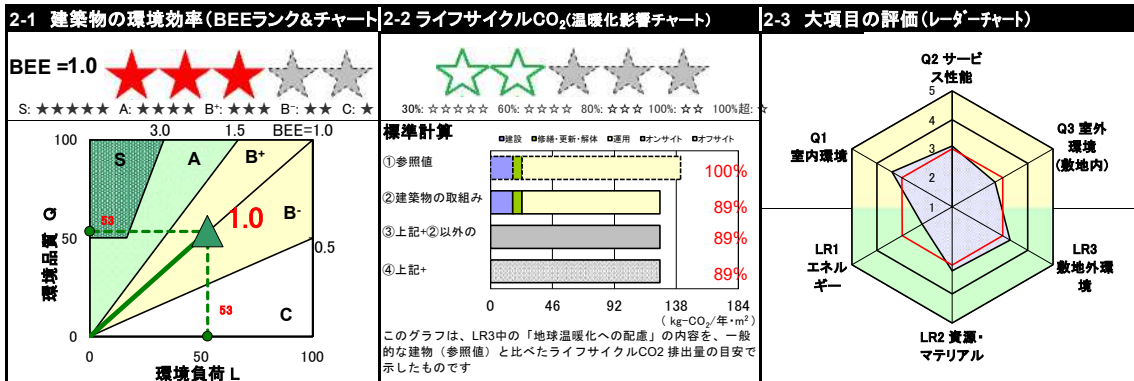


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アプライド豊田店	階数	地上2階
建設地	愛知県豊田市下市場町六丁目67-1, 67-2, 67-3, 67-4, 68-1	構造	S造
用途地域	準工業地域、第一種住居地域	平均居住人員	15人
気候区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年4月 予定	評価の実施日	2025年9月5日
敷地面積	1,851 m ²	作成者	横山直紀
建築面積	1,094 m ²	確認日	2025年9月24日
延床面積	2,098 m ²	確認者	横山直紀



3 重点項目	
①地球温暖化への配慮 3.4 	③敷地内の緑化 2.0 外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) 0.0 % 建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) 0.0 %
②資源の有効活用 3.1 	④地域材の活用 1.0 <外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3-1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
 Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性
 LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
 Q-3-1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
(仮称)アプライド豊田店

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体
<p>欄に数値またはコメントを記入</p>											

3 対応性・更新性			0.2	3.4	0.29	-	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			0.3	4.6	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	4.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			-	3.0	0.17	-	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			独自③	2.0	0.30	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	3.0	0.40	-	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	3.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	2.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=1.07	3.0	1.0	0.30	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEI=0.87	3.0	2.6	0.30	-	-	2.6
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.2
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水				3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			主要水栓等に加えて省水型機器を過半以上に採用	0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.1	0.63	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			②	-	3.0	0.21	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			独自	-	3.0	0.21	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	3.0	4.0	0.25	-	-	
躯体と仕上材が容易に分別可能な構造(軽量鉄骨下地)									
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.3	0.22	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.5	0.68	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP0かつGWPが低い断熱材等を使用している	-	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			①	-	3.4	0.33	-	-	3.4
ライフサイクルCO2排出率89%									
2 地域環境への配慮				0.3	3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止				-	5.0	0.25	-	-	
燃焼機器不使用									
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自	-	3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			独自	-	5.0	0.25	-	-	
適切な量の駐輪と駐車場計画をしている									
4 廃棄物処理負荷抑制				-	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自	-	3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自	-	-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				-	3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策				-	3.0	0.70	-	-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				-	3.0	0.30	-	-	

重点項目スコアシート
(仮称)アプライド豊田店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$ の総和

重点項目スコア= $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)アプライド豊田店

計画上の配慮事項	
総合	愛知県豊田市に新設される商業施設である。 広々と開放感のある売場にて、リサイクル材の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。
Q1 室内環境	ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建築材料を使用する事で、室内空気環境の向上に貢献している。
Q2 サービス性能	維持管理のしやすさ、必要更新間隔に配慮した内装・外装設計をしている。
Q3 室外環境(敷地内)	駐車場ピロティを全面に用いた計画により、日陰の形成に努める事で、敷地内温熱環境の向上に寄与している。
LR1 エネルギー	断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能な構造により、部材の再利用可能性向上として資源保護を図っている。
LR3 敷地外環境	オール電化として、大気汚染防止に配慮している。
その他	特になし。